

児童養護施設退所者等就業支援事業 活動報告

平成21年度～平成23年度

株式会社メディアベース



■F-Shipとは

児童養護施設や里親制度を利用する児童に対し、社会生活に必要な知識・技術習得のためのサポートを行う。また現在の生活や将来の不安などへの相談や支援を行う事業です。

F-Shipでは児童養護施設（里親家庭）や児童相談所、ハローワーク等と協力・連携し、体系的な支援ができるように努めております。

■平成21年度活動実績

対象児童への生活支援

施設名	学年	人数	課題と状況	支援内容
川奈臨海学園	高校3年	2名	就職内定をしていたが、 社会的マナーの習得 が必要。	◎慶弔マナー、挨拶 ◎欠席時の電話のかけ方
	中学1・2年	5名	挨拶からの指導が必要。	◎ コミュニケーション について ◎冠婚葬祭について
	高校2年	1名		
聖心養護園	高校3年	2名	就職は内定をしていたが、 社会的マナーの習得 が必要。	◎慶弔マナー、挨拶 ◎欠席時の電話のかけ方
	高校3年	3名	自立心はあるが 言葉遣い が悪い。 就労に対する イメージが漠然 としている。	◎金銭管理を含めた 卒業後の生活設計
岩倉学園	中学3年	4名	アルバイトを辞めたばかり 就労に対する イメージが漠然	●金銭管理を含めた 卒業後の生活設計
	高校1年			
少年少女の家	中学3年	1名	将来は大学進学し、資格取得を希望している	●金銭管理を含めた 卒業後の生活設計

■平成22年度活動実績

講師を招いて合同セミナーを開催

施設名	学年	人数	支援内容
川奈臨海学園	中学3年	1名	外部講師を招いてのセミナーを実施 第一部「コミュニケーションのコツ」 講師:大畑智里氏(静岡大学付属特別支援学校教諭) 第二部「お金の知識～新社会人のマネープラン～」 講師:真覚良信氏(県金融広報委員会アドバイザー)
聖心養護園	高校3年	3名	
少年少女の家	不明	2名	
ひまわり園	高校3年	4名	

対象児童への生活支援

施設名	学年	人数	支援内容
川奈臨海学園	中学1年 ～ 高校2年	6名	◎コミュニケーションについて ◎冠婚葬祭について

■平成22年度活動実績

対象児童への就業支援

施設	学年	課題と状況	支援内容
三方原学園	中学3年	就職内定が決定していたため就労後の支援を行う	【職場訪問支援】 ◎職場と児童のマッチング ◎定期訪問し児童への相談 ◎退職後のアフターフォロー
聖心養護園	高校3年	就職内定が決定していたため就労後の支援を行う	【職場定着支援】 ◎訪問し本人に対し相談と指導を行う
ひまわり園	高校2年	高校を中退していたためソーシャルスキルの習得と就職へ向けた支援	【就労支援】 ◎弊社にて基本的なパソコン操作、各種マナー講座を実施後、就職活動を経てホテル業に就職 ◎その後、メールのやりとりにてアフターフォロー

■平成23年度活動実績

対象児童への就業支援

施設／制度	学年	課題と状況	支援内容
里親制度	高校1年	求職中	【就労支援】 ◎各種 就労セミナー 、 マナー講座 を実施し、後にホテル内調理に内定
里親制度	高校1年	求職中	【就労支援】 ◎ハローワークに登録後、支援を行う予定だったが、本人が支援を望んでいないこと、また本人から支援辞退の申し出があったため支援を終了する
川奈臨海学園	高校3年	高校に通いながら求職中	【就労支援】 ◎ハローワークに求職登録後、各種 就労セミナー 、 マナー講座 の実施、後に介護職に内定が決まる
里親制度	中学3年	中学に通いながら求職中	【就労支援】 ◎ハローワークに求職登録後、支援を行う予定だったが、実の父親と生活することになった。そのため里親制度が終了、当方の支援を受ける対象外となり支援も終了となる
里親制度	中学3年	フリースクールに所属し求職中	【就労支援】 ◎ハローワークに求職登録後、各種 就労セミナー 、 マナー講座 の実施、ペットホテルスタッフに内定

■平成23年度活動実績

対象児童への就業支援

施設／制度	学年	課題と状況	支援内容
恵明学園	高校 1年	求職中	【就労支援】 ◎各種 就労セミナー、マナー講座 を実施し、 パソコンの基本的な使い方を学習する ◎施設の職員、児童相談所の勧めで療育手帳 を取得、その後、F-Shipの利用を終了し、 あしたか職業訓練校に入学する
里親制度	中学 3年	中学除籍後 求職中	【就労支援】 ◎各種 就労セミナー、マナー講座 を実施し、 パソコンの基本的な使い方を学習している。 〔現在もF-Shipに所属し支援を継続中〕

■活動実績まとめ

平成21年度	◎18名の児童に対し生活セミナーを実施
平成22年度	◎16名の児童に対し生活セミナーを実施 ◎3名の児童に就労支援を実施 【内1名が就労し職場定着】
平成23年度	◎7名の児童に対し就労支援を実施 【内3名が就労し職場定着、1名が支援継続中、3名は支援終了、1名は別施設に移行】

■ 支援における今後の課題

- ① 児童において自分自身の社会生活へのビジョンが描きにくく、**就労知識**（教養やマナーを含む）**生活力**が乏しい。
- ② 思春期の児童に対し、短期的な関わり（支援）の中で**十分な信頼関係**を築くことが困難である。
- ③ 児童相談所や児童養護施設、里親様との**継続的な連携と協力体制**が必要。

■課題を踏まえた今後の取り組み

- ①基本的な、生活・就労セミナーの強化
- ②各関係機関を交えてのケース会議、勉強会、情報交換（共有）
- ③様々な分野の講師を招いて行う、各種セミナーの実施

[エフ シップ]

御清聴ありがとうございました。

エフ シップ